

## 〔周波数の現状〕

- 30GHz帯以下では、ほぼ全帯域で既存の無線システムが存在しており、移動通信システムが使用するには、既存無線システムとの周波数共有が必須となる状態  
→ 共有検討の結果によっては、地域的な限定や屋内での使用等に限定となる場合も想定
- 他方、30GHz帯以上（ミリ波帯）では、一部の帯域で既存の無線システムは存在するが、未使用の帯域も多く存在

今後、既存無線システムとの共有検討及びミリ波帯利用の研究等により、移動通信システムでの使用の可能性を追求し、周波数を確保していくことが必要

移動通信システムでの使用の可能性があると考えられる周波数帯は以下のとおり

区分	周波数帯	合計幅
5GHz以下	<u>1.7GHz帯</u> 、 <u>2.3GHz帯</u> 、 <u>2.6GHz帯</u> 、 <u>4GHz帯</u> 、 <u>4.5GHz帯</u>	約1,300MHz幅
5GHz～10GHz	5GHz帯、8GHz帯	約350MHz幅
10GHz以上	<u>14GHz帯</u> 、 <u>28GHz帯</u> 、 <u>40GHz帯</u> 、 <u>48GHz帯</u> 、 <u>70GHz帯</u> 、 <u>80GHz帯</u>	約22,700MHz幅

注) 下線の周波数帯は、既存無線システムと周波数共有検討が必要となる周波数帯

## ■ 参考（2014年8月現在の携帯電話等の周波数帯と合計幅）

周波数帯	合計幅
700MHz帯、800MHz帯、900MHz帯、1.5GHz帯、1.7GHz帯、1.9GHz帯、2GHz帯、2.5GHz帯	約610MHz幅